



鹿骨中だより

江戸川区立鹿骨中学校

<http://edogawa.schoolweb.ne.jp/shishibone-j/>

教育目標

- ・みずから学び、考えて行動する生徒
- ・思いやりのある豊かな心をもった生徒
- ・健康で明るく、勤労と責任を重んじる生徒

「はじめて」を乗り越える

校長 大谷 雅也

3年生は、高校入試という「はじめて」を経験しています。推薦入試が終わり、今月は、私立高一般入試、都立高一次入試へと続きます。インターネット出願や都立高のスピーキング・テストの導入など、生徒も学校も「はじめて」と向き合っています。

私たちは、小さい頃から「はじめて」を経験して成長してきました。「はじめてのおつかい」「はじめての自転車」など、ドキドキ、わくわくした記憶が誰にもあると思います。

「はじめて」を乗り越えていくためには、何が必要でしょう。

ひとつは、準備です。受験のように準備ができる「はじめて」は、必要な情報を集めたり、練習したりすることができます。できる準備をしっかりとやりきることです。そうすることで、見通しをもって本番に臨むことができます。

もう一つは、ゴールを明確にすることです。災害のような準備のできない「はじめて」は、様々な問題が重なって起こります。ゴールを明確にすることで、その課題に優先順位をつけて対処することが大切です。

「はじめて」は、これまでに誰も経験のない出来事ともとらえることができます。「はじめて」に対処できるようになるためには、実際の社会で多様な体験を積み、学校の学習と往還して学ぶことが大切です。

3年生が、鹿骨中で学んだことを生かし、「はじめて」を乗り越えてくれると信じています。

校外学習（都内巡り）を終えて

2学年主任 近藤 昭浩

「都会に進出 learn in Tokyo」をスローガンに2月3日（金）、2年生は校外学習で都内巡りを行いました。今回の目的は2つあり、1つは修学旅行につなげる活動にすること。もう1つは2年生のまとめとして、”2年生はここまでできる “という姿を見せることでした。

班でコースについてよく話し合い、当日はどの班も和気あいあいとした雰囲気の中、それぞれの目的地で充実した活動ができていました。また、何よりも生徒一人一人がルールやマナーを守り行動することを強く意識してくれていたことがとてもよかったです。この校外学習の成果を今後の学校生活や行事に活かし、もっともっと学校の中心として活躍できる学年になってほしいです。



2月 主な行事予定

日	曜	2月主な行事等
1	水	職員会議 江戸川っ子 STUDYWEEK
2	木	都立高推薦発表
3	金	2年校外学習(都内巡り)
4	土	
5	日	
6	月	朝礼 人権作文表彰 考査範囲配付
7	火	専門委
8	水	区中研一斉研究日
9	木	学校保健委員会
10	金	私立高一般入試(始)
11	土	建国記念の日
12	日	
13	月	生徒朝礼
14	火	SNS家庭ルール強化週間始
15	水	小中連携の日(鹿骨東小)
16	木	
17	金	入学説明会(新入生保護者対象)
18	土	
19	日	
20	月	
21	火	都立高1次入試日
22	水	職員会議
23	木	天皇誕生日
24	金	学年末考査【数・保体・技家】
25	土	
26	日	
27	月	学年末考査【英・理・音】
28	火	学年末考査【国・社・美】避難訓練

校内作品展

「今回の作品展は、日常の学習の成果を展示・発表することができました。作品展のためだけに作品をつかったのではなく、一つ一つの授業の積み重ねが作品となって展示されました」

(校内作品展担当 結城里絵主任教諭)

保護者の方からも「それぞれの個性がとても伝わってきて、見ていて楽しく、子供の感性に感動しました」と感想をいただきました。

ご参観ありがとうございました。



生徒の活躍(表彰)

<中学生人権作文コンテスト東京大会>
作文委員会賞 2年 齋藤 晴菜
入賞 2年 10名



2月6日(月)朝礼で5名の人権擁護委員の皆様が来校され、直接、表彰状が贈呈されました。また、学校にも感謝状をいただきました。ありがとうございました。

<東京都中学校アンサンブルコンテスト>
吹奏楽部 銅賞

<江戸川区中学校書初め大会>

教育研究会長賞 2年 (都中学生展覧会出品)

推薦 3年

推薦 1年

*都展 2月14日(火)から19日(日)都美術館で開催

校長室の掛け軸

校長室にかかる掛け軸は、三縁山増上寺の法主(ほっす) 道重信教(みちしげ しんきょう)の書で「万里通心(ばんりつうしん)」と記されていると、人権擁護委員の荒木昌道様にご教授いただきました。

信教法主は、安政3年(1856年)の生まれ、幕末から昭和9年まで激動の時代を生きられた方です。着任以来、どなたの書かわからなかったのですが、ご教授いただいで大変うれしかったです。ただ、なぜこの書が鹿骨中にあるのかはまだ謎です。



道徳科授業「校則はどんな役割があるか」

2/9(木)全学級で一斉に道徳科の授業を行いました。新しい校則を教材として、きまりの役割について考えました。

本校の校則のキーワードは3つです。

○安全・安心：安全で安心な学校生活をつくる

○ジェンダーレス：男らしき女らしきではなく、人間としての価値判断をする

○フォーマル：TPOに合った身だしなみや所作を理解し、日本の文化を大切にする

〔生徒の振り返り〕

「校則の意味について考えることができた」「校則は世の中の流れによって変わらなければならないと思った」「きまりを守ることで社会の一員としての自覚ができると思う」「校則は社会に出るためにとっても大切だと思った」「制限があることで、自由が生まれるという、何か難しいなと思った」

これからもみんなで校則を考えていきます。